

令和5年度（2023年度） 技術・家庭科（技術分野） 年間指導計画【第2学年】

評価	ア 授業態度、発言	イ ワークシート	ウ ワークブック	エ 定期考査
方法	オ 作品	カ 課題レポート	キ 作業記録表	ク 振り返りシート

教科横断的視点：他教科関連（教科名） 内容

月	単元	時数	学習内容	評価規準		
				知識・技能 (ア、エ、オ)	思考・判断・表現 (ア、エ、オ、カ)	主体的に学習に取り組む態度 (ア、イ、ウ、キ、ク)
4	エネルギー変換の技術 情報の技術	2	電子部品と回路	電子部品と回路について理解している。	電子部品と回路の技術に込められた工夫について考えている。	電子部品と回路の技術について理解しようとしている。
		3	Active Basicを使用した作品制作	<ul style="list-style-type: none"> 課題に応じて、使用言語の文法通りに、プログラムの作成・編集ができる。 使用言語の特徴と利用方法を理解している。 	Active Basicを使用して、自らの考えを表現する方法の工夫について考えている。	自らの問題解決を振り返り、より良いプログラムを作成しようとしている。
6	エネルギー変換の技術	5	1 石実験回路の製作 理科 電流の性質	<ul style="list-style-type: none"> トランジスタやセンサーを利用した回路を作成できる。 トランジスタやセンサーを利用した回路について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的とするセンサーの仕組みを理解し、設計通りに回路の製作ができる。 電子回路の製作に必要な工具や機器の使い方の改善について考えている。 	電子回路の製作の目的や条件に応じて、適切な工具を選択し、使い方を工夫してよりよい回路を製作しようとしている。
		5	ラジオの製作 ・回路の製作	<ul style="list-style-type: none"> 製作に必要な部品、工具を選び、製作品の組み立て、配線ができる。 製作品の組み立てや配線について理解している。 	回路の製作に必要な工具や機器の使い方の改善について考えている。	回路の製作の目的や条件に応じて、適切な工具を選択し、使い方を工夫して、回路の製作をしようとしている。
9	情報の技術 エネルギー変換の技術	3	ラジオの製作 ・パネルのデザインと製作	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアを使用して、基本的な画像の処理ができる。 ソフトウェアの特徴と利用方法に関する知識を理解している。 	ソフトウェアを使用して、自らの考えを表現する方法の工夫について考えている。	作品の構成等を考えてよりよい作品を作成しようとしている。
		2	機械の運動を伝える仕組み	運動を伝える仕組みについて理解している。	運動を伝える仕組みの技術に込められた工夫について考えている。	運動を伝える仕組みの技術について理解しようとしている。
10	エネルギー変換の技術					

10		5	機構の製作 リンクとカムを使った 模型の製作	<ul style="list-style-type: none"> 目的とする動作を想定して機構を選択し、模型の製作ができる。 カムやリンクなどを利用した力の伝達の仕組みについて理解している。 	目的の仕事や動作をさせるために運動の伝達の仕組みを工夫している。	回路の製作の目的や条件に応じて、適切な工具を選択し、使い方を工夫して、よりよい作品を製作しようとしている。
11		3	これからのエネルギー 変換の技術 持続可能な社会の構築	持続可能な社会の構築のために必要なこれからのエネルギー変換の技術の概念を理解している。	持続可能な社会の構築に向けて、これからのエネルギー変換の技術を評価し、適切な選択、運用、改良について考えている。	持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。
12		2	生物育成の基礎知識	作物の生育と環境条件に関する知識を身に付けている。	生物育成の技術に込められた工夫について考えている。	生物育成の技術について理解しようとしている。
1		4	作物の栽培	<ul style="list-style-type: none"> 栽培する作物成長に合わせて、適切な管理作業を行うことができる。 栽培する作物成長に合わせた管理作業について理解している。 	播種、かん水、記録、鉢の保護などの作業や用具の管理の方法の工夫について考えている。	栽培する作物に応じて、適切な用具を選択し、適切な管理をしようとしている。
2		2	これからの生物育成の 技術 持続可能な社会の構築	地域社会において、生物育成の技術の自然環境に及ぼす影響に関わる問題の解決方法を理解している。	地域社会において、生物育成の技術の自然環境に及ぼす影響に関わる問題を見いだして課題を設定できる。	自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。